

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公表番号】特表2012-509264(P2012-509264A)

【公表日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2011-536397(P2011-536397)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/00

A 6 1 P 27/06

A 6 1 K 31/498

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記のものを含んでいる、眼球内の使用に好適な生分解性インプラント：

(a) 50重量パーセント以上の -2アドレナリン作動性レセプターアゴニスト；ならびに

(b) 下記の混合物である生分解性ポリマー；

(i) エステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および

(ii) エステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド-コ-グリコリド)ポリマー

。

【請求項2】

約60重量%の -2アドレナリン作動性レセプターアゴニスト、

約30重量%のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および

約10重量%のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド-コ-グリコリド)ポリマーを含む、

請求項1記載のインプラント。

【請求項3】

エステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーが、2つの異なるエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーを含む、請求項1記載のインプラント。

【請求項4】

-2アドレナリン作動性レセプターアゴニストがブリモニジンである、請求項1記載のインプラント。

【請求項5】

ブリモニジンがブリモニジン遊離塩である、請求項4記載のインプラント。

【請求項 6】

下記のものを含んでいる、眼球内の使用に好適な生分解性インプラント：

- (a) 約60重量パーセントのプリモニジン遊離塩；ならびに
- (b) 下記の混合物である生分解性ポリマー；
 - (i) 約15重量%の第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、
 - (i i) 第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーとは異なる約15重量%の第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、
 - (i i i) 約10重量%のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド-コ-グリコリド)ポリマー。

【請求項 7】

インプラントが棒またはディスク形状である、請求項1記載のインプラント。

【請求項 8】

下記のものを含んでいる、眼球内の使用に好適な生分解性インプラント：

- (a) プリモニジン酒石酸塩；
- (b) プリモニジン遊離塩；ならびに
- (c) 下記の混合物である生分解性ポリマー；
 - (i) 第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、
 - (i i) 第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および
 - (i i i) 酸末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー。

【請求項 9】

第一および第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーが異なるエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーである、請求項8記載のインプラント。

【請求項 10】

約50重量%のプリモニジン、約20重量%の第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および20重量%の第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および約10重量%の酸末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーを含む、請求項9記載のインプラント。

【請求項 11】

インプラントが約40重量%のプリモニジン遊離塩を含む、請求項8記載のインプラント。

【請求項 12】

インプラントが約10重量%のプリモニジン酒石酸塩を含む、請求項8記載のインプラント。

【請求項 13】

下記のものを含んでいる、眼球内の使用に好適な生分解性インプラント：

- (a) 約40重量%のプリモニジン遊離塩、
- (b) 約10重量%のプリモニジン酒石酸塩、ならびに
- (c) 下記の混合物である生分解性ポリマー；
 - (i) 約20重量%の第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、
 - (i i) 約20重量%の第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および
 - (i i i) 約10重量%の酸末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー。

【請求項 14】

インプラントが棒またはディスク形状である、請求項8記載のインプラント。

【請求項 15】

- (a) 約60重量パーセントのプリモニジン遊離塩；ならびに
- (b) 下記の混合物である生分解性ポリマー；
 - (i) 約15重量%の第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、
 - (i i) 第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマーとは異なる約15重量%の第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および
 - (i i i) 約10重量%のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド-コ-グリコリド)ポリマ

一、

を含む、緑内障の処置のための、生分解性の眼球内インプラント。

【請求項 16】

(a) 約40重量%のプリモニジン遊離塩、

(b) 約10重量%のプリモニジン酒石酸塩、ならびに

(c) 下記の混合物である生分解性ポリマー；

(i) 約20重量%の第一のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、

(i i) 約20重量%の第二のエステル末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、および

(i i i) 約10重量%の酸末端封鎖ポリ(D,L-ラクチド)ポリマー、

を含む、緑内障の処置のための、生分解性の眼球内インプラント。